

令和 3 年 6 月 1 日現在

機関番号：11301

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2017～2020

課題番号：17H02517

研究課題名（和文）複数の異質エリアを同時考慮した連続距離空間都市モデルによる最適都市政策設計

研究課題名（英文）Development of an urban model with continuous space composed of heterogeneous zones and its analysis

研究代表者

河野 達仁（Kono, Tatsuhiro）

東北大学・情報科学研究科・教授

研究者番号：00344713

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 5,400,000円

研究成果の概要（和文）：複数の異質エリアを持つモデルとして、二つのモデル開発を行う。一つは、伝統的なAlonso型の都市経済モデルと、食物連鎖のある生態系を統合したUrban-ecosystem modelを開発する。従来研究とは異なり、連続距離空間を考慮しているため、地点別に異なるメカニズムを捉えたうえで、地点別の土地利用規制や森林政策を提案できる。二つ目は、自動車混雑のある都市におけるコーン料金の位置と水準ならびに交通関連税を同時最適化している。空間を考慮すべき自動車関連税の議論に分析結果が有用である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の特徴は、複数の異質エリアの同時考慮である。都市経済学では、連続距離空間の都市モデル（が一般的である。しかし、その分析のとき住宅エリアのみなど一つのエリアに着目することが一般的である。実際、ビジネスと住宅の両エリアを考慮した代表的都市モデルはFujita・Ogawa（1982）などの研究に限られている。分析する政策が、交通課金や土地利用規制等のように異質エリア間の相互依存の影響が強い場合、異質エリアの同時考慮は欠かせない。

研究成果の概要（英文）：We will develop two models as a model with multiple heterogeneous areas. One is to develop an Urban-ecosystem model that integrates a traditional Alonso-type urban economic model with an ecosystem with a food chain. Unlike conventional research, it considers continuous metric spaces, so it is possible to propose land use regulations and forest policies for each point after grasping different mechanisms for each point. The second is to simultaneously optimize the location and level of cordon tolls and transportation-related taxes in busy cities. The analysis results are useful for discussing automobile-related taxes that should consider space.

研究分野：都市経済学，交通経済学，地方財政

キーワード：異質空間 都市モデル 生態モデル

1. 研究開始当初の背景

本研究の特徴は、複数の異質エリアの同時考慮である。都市経済学では、連続距離空間の都市モデル(Alonso モデル)の利用が一般的である。その分析例は、都心への交通費用が連続変化する住民の立地均衡を求め、敷地面積等を距離の関数として求める等である。しかし、そういった分析のとき住宅エリアのみなど一つのエリアに着目することが一般的である。実際、ビジネスと住宅の両エリアを考慮した代表的都市モデルは Fujita・Ogawa (1982), Lucas・Rossi-Hansberg (2003), Rossi-Hansberg (2005)といった研究に未だ限られている。分析する政策が、交通課金や土地利用規制等のように異質エリア間の相互依存の影響が強い場合、異質エリアの同時考慮は欠かせない。

異質エリアの例としてコードン課金がある。コードン課金とは、あるラインを通過して都心流入する交通のみに課金するシステムであり、現実的課金システムである。この時、ラインを境に課金有無による異質なエリアが発生する。そこで、課金有無の二つのエリアを連ねた連続距離空間の都市モデルを用いて、課金システムと土地利用規制の同時最適化を行い、最適課金位置や水準等の政策の性質を導出した。またビジネスエリアと住宅エリアの土地利用規制を同時に最適化する研究を行っている。ビジネスビルと住宅用マンションでは容積率規制の理由が異なる。また、一戸建てエリアでは、容積率規制より住宅敷地面積規制による人口密度調整が必要である。そのうえ、それらの異質エリア間に強い相互依存関係がある。例えばマンションエリアの容積率を小さく規制すると一戸建てエリア住民が増加する。

2. 研究の目的

本研究は、異質エリアを複数連ねた連続距離空間都市モデルを構築し、異質エリア間の相互作用を厳密にとらえた最適政策設計を行う。大別して2つの政策分析を行う。一つは、生態系を育む森林エリアを都市モデルと結合したモデルを構築のうえ、生態系と都市活動の相互作用も考慮した「森林管理を含めた土地利用政策」の最適設計を行う。二つ目は、自動車混雑のある都市におけるコードン料金の位置と水準ならびに交通関連税を同時最適化する。両分析とも、理論分析としては、最適政策が持つ性質と、その最適条件(観察可能変数で構成)を導出する。定量分析としては、環境や生態に関する詳細な現状データを収集し、空間均衡を考慮した Computational General Equilibrium (CGE)分析を用いて、各政策の最適値や環境レベルおよび厚生改善率を求める。

3. 研究の方法

本研究は、異質エリアを複数連ねた連続空間都市モデルを構築し、異質エリア間の相互作用を厳密にとらえた政策分析を行う。大別して2つの政策分析を行う。<政策分析1>生態系を育む森林エリアと都市を連担したモデルによる「森林管理を含めた土地利用政策」の最適設計と、<政策分析2>自動車混雑のある都市におけるコードン料金の位置と水準ならびに交通関連税を同時最適化である。両新展開についても、理論分析(理論解析と理論モデルの数値解析)を先に行い、次に定量分析(CG E分析)を行う。理論分析は、メカニズムを示すことが目的であり、簡略化したモデルを用いる。その理論モデルの数値分析をメカニズムについて数値的にも示すため行う。定量分析(CG E分析)は、実際の都市を対象にゾーンも細かく分割して、詳細な分析を行う。

4. 研究成果

本研究は、異質エリアを複数連ねた連続距離空間都市モデルを構築し、異質エリア間の相互作用を厳密にとらえた最適政策設計を行っている。大別して2つの政策分析を行っている。一つ目は生態系を育む森林エリアを都市モデルと結合したモデルを構築のうえ生態系と都市活動の相互作用も考慮した「森林管理を含めた土地利用政策」の最適設計であり、二つ目は自動車混雑のある都市におけるコードン料金の位置と水準ならびに交通関連税の同時最適化である。両分析とも、理論分析としては、最適政策が持つ性質と、その最適条件(観察可能変数で構成)を導出している。定量分析としては、環境や生態に関する詳細な現状データを収集し、空間均衡を考慮した Computational General Equilibrium (CGE)分析を用いて、各政策の最適値や環境レベルおよび厚生改善率を求めている。これらすべて論文として完了し、国際誌にすでに受理および現在査読中のものとなっている。具体的には、生態系の研究は三本の論文が完成し、うち一本が Regional Science and Urban Economics と土木学会論文集で公刊済みである。もう一本は国際

誌で査読中で、さらに working paper として SSRN に投稿済みである。また、住居内の電気消費も考慮した環境政策の研究 (Hirota, Domon, Kono, Matsuki and Managi) も国際誌に投稿済みで査読中である。コードン料金の位置と水準の研究は、Kono・Kawaguchi で Scandinavian Journal of Economic に既に公刊済みである。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計31件（うち査読付論文 23件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 J Yoshida, T Kono	4. 巻 in press
2. 論文標題 Kono Land use policies considering a natural ecosystem	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Regional Science and Urban Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tatsuhito Kono, Yohei Mitsuhiro, and Jun Yoshida	4. 巻 accepted /In press
2. 論文標題 Simultaneous Optimization of Multiple Taxes on Car Use and Tolls Considering the Marginal Cost of Public Funds in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Japanese Economic Review	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42973-019-00029-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Tatsuhito Kono, David Pines, Takahisa Yokoi	4. 巻 vol.112
2. 論文標題 Spatially-variable property tax and optimal tax composition in congested monocentric cities: George, Pigou, Ramsey and Strotz unified	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Urban Economics	6. 最初と最後の頁 122-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jue.2019.05.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 安田誠宏, 吉田京香, 河野達仁	4. 巻 Vo. 75, No. 2
2. 論文標題 防潮堤整備が進む地域における住民の避難意思決定に関する調査および分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 土木学会論文集B2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 I_1369-I_1374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.75.I_1369	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 武藤慎一, 東山洋平, 河野達仁, 福田敦	4. 巻 75(3)
2. 論文標題 交通生産内生型 SCGE モデルの開発	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 土木学会論文集 D3 (土木計画学)	6. 最初と最後の頁 139-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejipm.75.139	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田惇, 井元智子, 河野達仁	4. 巻 75-2
2. 論文標題 達仁 クマ被害軽減と生物保全のための最適土地利用政策	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 土木学会論文集D3 (土木計画学)	6. 最初と最後の頁 47-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejipm.75.47	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Löschel, A., and S. Managi.	4. 巻 56
2. 論文標題 Economic Analysis of Energy Demand: Insights for Industries and Households	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Resource and Energy Economics	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tamaki, T., W. Nozawa, and S. Managi.	4. 巻 14-19
2. 論文標題 "Controlling CO2 emissions for each area in a region: The case of Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Carbon Balance and Management	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Athukorala, W., M. Karunaratna, C. Wilson, and S. Managi.	4. 巻 134
2. 論文標題 Household Demand for Electricity: the Role of Market Distortions and Prices in Competition Policy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Energy Policy	6. 最初と最後の頁 Article11093
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.enpol.2019.110932	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Löschel, A., B. Lutz, and S. Managi.	4. 巻 56
2. 論文標題 The Impacts of the EU ETS on Efficiency - An Empirical Analyses for German Manufacturing Firms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Resource and Energy Economics	6. 最初と最後の頁 71-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.reseneeco.2018.03.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 INOUE Hiroyasu, NAKAJIMA Kentaro, SAITO Yukiko	4. 巻 Vol.62-1
2. 論文標題 Localization of Collaborations in Knowledge Creation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Annals of Regional Science	6. 最初と最後の頁 119-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toshitaka GOKON, Ikuo KUROIWA, Kentaro NAKAJIMA	4. 巻 Vol.62
2. 論文標題 Agglomeration Economies in Vietnam: A Firm-Level Analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Asian Economics	6. 最初と最後の頁 52-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 atsuhito Kono, Akira Kishi	4. 巻 Vo.91
2. 論文標題 What is an appropriate welfare measure for efficiency of local public policies inducing migration?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mathematical Social Sciences	6. 最初と最後の頁 25-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mathsocsci.2017.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuhito Kono, Kirti Kusum Joshi	4. 巻 Vo.18, Issue 3
2. 論文標題 Spatial externalities and Land Use Regulation: an Integrated Set of Multiple Density Regulations	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Economic Geography	6. 最初と最後の頁 571-598
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jeg/lbx021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kono, Akio Kishi, Emish iSeita, TakahisaYokoi	4. 巻 Vol.14, Issue3
2. 論文標題 Limitations of using generalized transport costs to estimate changes in trip demand: a bias caused by the endogenous value of time	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transportmetrica A: transport Science	6. 最初と最後の頁 192-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/23249935.2017.1363316	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安田誠宏, 朝比奈朋美, 宇野喜之, 河野達仁, 岡安章夫	4. 巻 Vol.74, No.2
2. 論文標題 海岸を観光資源とするまちにおける費用便益分析を用いた最適海岸堤防高さの設定方法の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 土木学会論文集B2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 0-0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakajima Kentaro, Okazaki Tetsuji	4. 巻 71
2. 論文標題 The expanding Empire and spatial distribution of economic activity: the case of Japan's colonization of Korea during the prewar period	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Economic History Review	6. 最初と最後の頁 593 ~ 616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ehr.12535	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue Hiroyasu, Nakajima Kentaro, Saito Yukiko Umeno	4. 巻 62
2. 論文標題 Localization of collaborations in knowledge creation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Annals of Regional Science	6. 最初と最後の頁 119 ~ 140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00168-018-0889-y	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gokan Toshitaka, Kuroiwa Ikuo, Nakajima Kentaro	4. 巻 -
2. 論文標題 Agglomeration economies in Vietnam: A firm-level analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Asian Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.asieco.2019.03.002	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoru Hiramatsu	4. 巻 27
2. 論文標題 Job and Population Location Choices and Economic Effects of High Speed Rail: Simulation Analysis of Shinkansen in Kyushu Island, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Research in Transportation Economics	6. 最初と最後の頁 15-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈	4. 巻 Vol157,304-02
2. 論文標題 訪日外国人と地方経済	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 土木計画学研究・講演集	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈	4. 巻 56
2. 論文標題 関西2府4県における訪日外国人の経済効果：応用一般均衡分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 九州経済学会年報	6. 最初と最後の頁 149-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoru Hiramatsu	4. 巻 45(29)
2. 論文標題 Unequal Regional Impacts of High Speed Rail on the Tourism Industry: A Simulation Analysis of the Effects of Kyushu Shinkansen	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transportation	6. 最初と最後の頁 677-701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoru Hiramatsu, Koji Yoneda	4. 巻 17(3)
2. 論文標題 Short-term Impact of High Speed Rail on the Working-age Population: Evidence from Kyushu Shinkansen in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Empirical Economic Letters	6. 最初と最後の頁 359-366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kono Tatsuhito, Kishi Akio, Seita Emishi, Yokoi Takahisa	4. 巻 14
2. 論文標題 Limitations of using generalized transport costs to estimate changes in trip demand: a bias caused by the endogenous value of time	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transportmetrica A: transport Science	6. 最初と最後の頁 192 ~ 209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/23249935.2017.1363316	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kono Tatsuhito, Kawaguchi Hiroya	4. 巻 119
2. 論文標題 Cordon Pricing and Land-Use Regulation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scandinavian Journal of Economics	6. 最初と最後の頁 405 ~ 434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/sjoe.12167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kono Tatsuhito, Kishi Akio	4. 巻 91
2. 論文標題 What is an appropriate welfare measure for efficiency of local public policies inducing migration?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mathematical Socical Sciences	6. 最初と最後の頁 25 ~ 35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mathsocsci.2017.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤康彦、平松燈、井上寛規、米田耕司	4. 巻 37
2. 論文標題 Artisocによる都市道路ネットワークの形成メカニズム解明のためのシミュレータ開発	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 産業経営研究 (熊本学園大学付属産業経営研究所)	6. 最初と最後の頁 1 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈、米田耕士	4. 巻 24
2. 論文標題 九州新幹線の開業が沿線人口に及ぼした影響	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済論集（熊本学園大学）	6. 最初と最後の頁 154～168
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平松燈	4. 巻 55
2. 論文標題 九州7県での訪日外国人による経済波及効果の地域間産業連関分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 九州経済学会年報	6. 最初と最後の頁 105～112
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue Hiroyasu, Nakajima Kentaro, Saito Yukiko Umeno	4. 巻 43
2. 論文標題 Localization of knowledge-creating establishments	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japan and the World Economy	6. 最初と最後の頁 23～29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.japwor.2017.09.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計32件（うち招待講演 2件／うち国際学会 7件）

1. 発表者名 Tatsuhito Kono, Kentaro Nakajima, Kosuke Shod
2. 発表標題 External Benefits of Geographical Concentration of Firms with Trade Networks
3. 学会等名 14th Meeting of the Urban Economics Association, USA（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小長根丈慈、河野達仁
2. 発表標題 都市空間において鉄道と自動車の混雑相互依存関係を考慮した料金政策
3. 学会等名 土木計画学研究発表会秋大会、富山
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kentaro Nakajima, Tsuyoshi Tsuru, Katsuhito Uehara
2. 発表標題 Impact of Workplace Communication Networks on Productivity: A New Approach Using Wearable Sensors
3. 学会等名 9th European Meeting of the Urban Economics Association (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 広田真由、河野達仁
2. 発表標題 エネルギー消費と交通混雑を考慮した都市におけるピグー税と土地利用政策
3. 学会等名 土木計画学研究発表会秋大会、富山
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河野達仁、小長根丈慈、桑原雅夫、上戸圭悟
2. 発表標題 Optimal Pricing Policy on Railways and Roads Considering Their Interdependent Congestion in a City
3. 学会等名 応用地域学会研究発表会、佐賀
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jun Yoshida, Tatsuhito Kono
2. 発表標題 Land use Policies for biodiversity
3. 学会等名 13th Meeting of the Urban Economics Association at Columbia University (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Jun Yoshida, Tatsuhito Kono
2. 発表標題 Land use Policies for biodiversity
3. 学会等名 Korean Environmental Economics Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Jun Yoshida, Tatsuhito Kono
2. 発表標題 Land use Policies for biodiversity
3. 学会等名 6th World Congress of Environmental and Resource Economists (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuhito Kono, Yohei Mitsuhiro, and Jun Yoshida
2. 発表標題 Simultaneous Optimization of Multiple Taxes on Car Use and Tolls Considering the Marginal Cost of Public Funds in Japan
3. 学会等名 応用地域学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuhito Kono, Masao Kuwahara, and Yoshihiro Takeda
2. 発表標題 Land Use Regulation with Two Modes of Transport: the Bottleneck Congestion Case
3. 学会等名 応用地域学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田惇, 井元智子, 河野達仁
2. 発表標題 クマ被害軽減と生物保全のための最適土地利用政策
3. 学会等名 土木計画学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 広田 真由, 土門 翔平, 河野 達仁, 松木 佑介, 馬奈木 俊介
2. 発表標題 エネルギー消費と交通混雑を考慮した都市におけるピグー税と土地利用規制
3. 学会等名 土木計画学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河野達仁, 瀬賀皓介, 瀬谷創
2. 発表標題 ヘッドニックアプローチによる無電柱化の便益の計測
3. 学会等名 土木計画学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 星諒太, 河野達仁, 小島浩
2. 発表標題 都市空間を考慮した自動車関連税の最適化
3. 学会等名 土木計画学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuhito Kono, Li Shuai, and Jun Yoshida
2. 発表標題 Optimal Car Taxes and Highway Tolls in Beijing Considering the Marginal Cost of Public Funds
3. 学会等名 土木計画学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kentaro Nakajima
2. 発表標題 Supply Elasticity of Housing Market in Japan
3. 学会等名 応用地域学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kentaro Nakajima
2. 発表標題 The Impact of High-Speed Rail on Innovation
3. 学会等名 日本経済学会春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中島賢太郎
2. 発表標題 都市とイノベーション
3. 学会等名 日本経済学会秋季大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kentaro Nakajima
2. 発表標題 The Impact of High-Speed Rail on Innovation
3. 学会等名 ADB Institute conference（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平松燈
2. 発表標題 リニア中央新幹線の影響と地域差
3. 学会等名 応用一般均衡分析と交通分析の統合に関する研究小委員会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平松燈
2. 発表標題 訪日外国人と地方経済
3. 学会等名 土木計画学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuho Yamaura, Tatsuhito Kono, Tatsuya Sato
2. 発表標題 How business philosophy affects creative activities? : The Inamori management case
3. 学会等名 15th European Congress of Psychology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tatsuhito Kono, Kentaro Nakajima, Kousuke Shoda
2. 発表標題 Quantitative analysis of locational externalities considering trade network
3. 学会等名 応用地域学発表会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Jun Yoshida, Tatsuhito Kono
2. 発表標題 Quantitative analysis of locational externalities considering trade network
3. 学会等名 環境経済・政策学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 河野達仁, 瀬賀皓介, 瀬谷創
2. 発表標題 ヘッドニックアプローチによる無電柱化の便益の計測
3. 学会等名 土木計画学
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 河野達仁, 光廣陽平, 森杉壽芳
2. 発表標題 財源調達費用を考慮した自動車関連税と料金の同時最適化
3. 学会等名 土木計画学
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平松燈
2. 発表標題 訪日外国人の増加と長期的な地方経済の衰退
3. 学会等名 都市経済ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平松燈
2. 発表標題 関西2府4県における訪日外国人の経済効果: 応用一般均衡分析
3. 学会等名 九州経済学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平松燈
2. 発表標題 Unequal Regional Impacts of High Speed Rail on the Tourism Industry: A Simulation Analysis of the Effects of Kyushu Shinkansen
3. 学会等名 応用一般均衡分析と交通分析の統合に関する研究小委員会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中島賢太郎
2. 発表標題 ミクロ立地データを用いた集積検出とその応用について
3. 学会等名 日本経済学会 2017年度春季大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中島賢太郎
2. 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
3. 学会等名 7th European Meeting of the Urban Economics Association
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中島賢太郎
2. 発表標題 Identifying Neighborhood Effects among Firms: Evidence from the Location Lotteries of the Tokyo Tsukiji Fish Market
3. 学会等名 12th Meeting of the Urban Economics Association
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 Tatsuhito Kono Kirti Kusum Joshi	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 208
3. 書名 Traffic Congestion and Land Use Regulations: Theory and Policy Analysis	

1. 著者名 深尾京司, 中村尚史, 中林真幸	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 320 (275-287)
3. 書名 岩波講座 日本経済の歴史 6 現代2	

1. 著者名 河野達仁ほか	4. 発行年 2017年
2. 出版社 コロナ社	5. 総ページ数 822
3. 書名 土木計画学ハンドブック	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	平松 燈 (Hiramatsu Tomoru) (30725255)	関西学院大学・総合政策学部・教授 (34504)	
研究分担者	中島 賢太郎 (Nakajima Kentaro) (60507698)	一橋大学・大学院経営管理研究科・准教授 (12613)	
研究分担者	馬奈木 俊介 (Managi Shunsuke) (70372456)	九州大学・大学院工学研究院・教授 (17102)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	SHIN KONGJOO (Shin Kongjoo) (30757232)	九州大学・工学研究院・特任講師 (17102)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関